

国際トウレット症候群シンポジウムのご案内

トウレット症候群及び強迫性障害の研究で国際的に活躍しているdo Rosário博士をお招きして、トウレット症候群に関する国際シンポジウムを開催いたします。我が国の現状に関する報告とあわせて、よりよいトウレット症候群の治療に向けて検討を深める機会になればと願っております。

トウレット症候群に関わる様々な方々に多数ご参加いただければ幸いです。

会期: 11月15日(日) 午後1時~5時

場所: 京都大学百周年時計台記念館2階国際交流ホール I

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 Tel. 075-753-2285(事務室)

参加費: 2,000円

参加申込: 事前申込は不要です

プログラム: <逐次通訳付き>

司会: 太田昌孝(心の発達研究所)

1. トウレット症候群の概要: 金生由紀子(東京大学医学部附属病院「こころの発達」診療部)
2. 日本におけるトウレット症候群の治療の現状: 岡田俊(京都大学医学部附属病院精神科神経科)
3. 国際的なトウレット症候群の臨床研究及び治療の動向: Maria Conceição do Rosário(サンパウロ連邦大学精神科)
4. 質疑応答

【会場地図】



主催: 「国際トウレット症候群シンポジウム」実行委員会
後援: NPO法人日本トウレット協会、トウレット研究会

連絡先:
京都大学医学部附属病院精神科
神経科児童精神医学部門
(担当: 岡田)

電話: 075-751-3373

(精神科代表)

E-mail: capu-kyoto @
amil.plala.or.jp